

下野三楽園養育3つの柱

慈悲

〈じひ〉

思いやる心

智慧

〈ちえ〉

正しい心

勇猛

〈ゆうみょう〉

強い心

さんらくえん通信

発行責任者：鈴木常元

編集責任者：藤原崇夫

編集：下野三楽園編集委員会

第42号



今年は春の日照時間が短かったものの、大事に育てられ、沢山の夏野菜を収穫することが出来ました。

太陽の光や土の栄養をたくさん受けて大きくなったジャガイモや枝豆、とうもろこしを子どもたち自身の手でもぎとり、格別のおいしさを味わいました。

『自由自在』

新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、世界中で外出や経済活動の自粛が続いています。不便な生活が長引く中で、暴動や誹謗中傷など、人々の心も

自由を失い、少しずつ荒れていく兆候が見え始めているような気もします。

さて、仏教では、あらゆる束縛から解き放たれた境地を「自由」と言います。

悟りの境地と言い換えてもいいかもしれませんが、他のものの影響を受けることのない、安らかな境地を言います。

自由であれば、自分の思い通りの存在になれるので、これを「自在」と言います。その自在の力には、世の中を見抜く自在、説法や教化をなしうる自在、自由に様々な国に生まれ、国土を清浄にする自在、寿命を伸縮する自在など、様々な自在が説かれています。

よって、自由自在とは、何ものにもとらわれることのない、のびのびとした安らかな心身の境地と、そこに現れるとらわれのないはたらきを言います。

18世紀スイスの哲学者ルソーは、「自由とは、やりたいことがすべてできることではない。真の自由とは、やりたくないことがひとつもなくなることであり」という言葉を残しています。

物理的な自由が制限される今だからこそ、心の自由まで失うことのないよう願わずにはいられません。

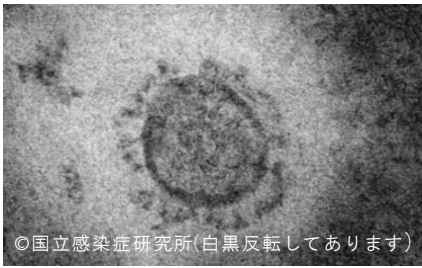
日光山輪王寺 関口純一

新型コロナなんて嫌いだ!

園長 藤原崇夫



日本だけでなく世界中で大混乱に陥れている新型コロナウィルス禍の中、いつになく短かった夏休みも終わってしまいました。三楽園の子どもたちは元気に登校を再開しました。さて、この「コロナ」という言葉、語源をたどれば「王冠」という意味のラテン語「corona」だそう、英語でいえば「クラウン」のことなんだそうです。他方、天文屋の世界で「コロナ」といえば、太陽の周りを取り巻いている高温のガスの中で、皆既日食のときにしか見ることができない珍しくも貴重なものです。聞くところによると、ウィルスの電子顕微鏡写真がこの太陽コロナに似ているという理由でそう名付けられたというのですが、正直なところ、そこまで言うほど似ている



©国立感染症研究所(白黒反転してあります)

そんなに似てるのかなあ?



2017.8.21 アメリカ・ワイオミング州にて

のか、ちょっと疑問です。のみならず、日食屋(こんな人たちもいます)からすれば、自分たちが愛してやまないコロナという言葉が、今回の騒動の元凶になっている憎むべきウィルスに冠せられているなんて心外にもほどがあり、はなはだ迷惑千万極まりないという憤りすら感じたりします。皆既日食というのは、日食の中でも太陽と月がぴったりと重なり月が太陽を完全に覆い隠すもので、数年に一度は地球上のどこかで見られる現象ですが、その場所は非常に限られています。なので、たかだか数分間の、場合によっては僅か数十秒間の皆既を見ることだけを目的に、日食屋はなけなしの小遣いをやりくりして地球上のあちこちに足を伸ばすことになりました。今年も一二月には南太平洋から南米にかけて見ることが出来ますが、このまま コロナ騒動が収まらないようであれば渡航すらままならず、日食屋の欲求不満はつのるばかりです。ちなみに、月の見かけの大きさが太陽よりわずかに小さく、完全に覆い隠すことができずに環のようになって見えるものを「金環日食」といいますが、これも今年の六月には中国や台湾などで見ることができました。八年前の二〇一二年には、減光用の日食メガネを手に細い環になった早朝の太陽をご覧になった方も多いでしょう。

日食のことを話し出すとキリがないのでまた別の機会に譲ることにしますが、今は先の見えないこのコロナ騒動が一日も早く終わりを告げ、元のように子どもたちが安心して生活できる世の中に戻ることを願うばかりです。ついでに言えば、今から一五年後の二〇三五年九月二日には、宇都宮に居ながらにしてこの皆既日食を見ることが出来ます。この日は日曜日、太陽を覆い隠すような無粋な雲さえ出なければ、午前一〇時七分すぎから二分三〇秒間にわたって、南東の空高くに白いベールをまとった黒い太陽が浮かんでいるという、この上なく神秘的な光景を目の当たりにすることが出来るでしょう。いま園にいる子どもたちがみな大人になっていくその日、彼らはどんな思いでそれを見るのでしょうか。そろそろ体力に自信を失いつつある自分ですが、コロナウィルスなんぞに屈することなくその日を迎え、本物のコロナを自分の目でしっかりと見届けたいという思いを、健康を維持するためのモチベーションにするのも悪くないかなと思っています。



2012.5.21 県内で撮影



すずらん居室紹介

幼児から高校生までの女子 5 名と幼児の男子 1 名の計 6 名で、毎日をにぎやかに過ごしています。ときどき、6 名の個性がぶつかることもあります。誰かが困っているときには助け合ったりできるなど、いざと言うときには一つにまとめることができるゆかいな仲間達です。それぞれの誕生日には、みんなでお祝いし、クリスマスにはみんなでケーキを囲み、どこかへ出かけた時には、みんなで全力で楽しんでいます。これからも、みんなで楽しい思い出をたくさん作っていきたいです。

居室担当 吉田



鐘の音を通して、新型コロナウイルスと闘う医療従事者への感謝の気持ちを贈る「共感の鐘」運動（長野県善光寺発祥）が日光山輪王寺で行われており、園職員も参加してきました。園で暮らす子どもたちが健やかに過ごせるようにという想いもこめ、おごそかな気持ちで鐘を鳴らしてきました。



居室紹介 ひまわり

ひまわり居室は小学生 4 名と高校生 1 名の、計 5 名の男の子たちが生活しています。小学生は朝から夜まで 1 日中元気いっぱい、今の暑い時期は昆虫採集のために園内の広いグラウンドをかけまわっています。高校生は、自分の将来の生活に向けて目標を設定し、達成に向けて頑張っています。皆それぞれに個性豊かで年齢差もありますが、時には一緒にスポーツや、季節ごとの行事や旅行などを楽しんだり、様々な時間を共有しています。

子どもたちが伸び伸びと成長できるよう関わっていますが、

職員もまた、子どもたちの明るさに日々元気をもらっています。



居室担当職員 石川直

新任職員紹介

新任職員の田崎です。新任とはいっても2年以上前から下野三楽園に関わってきたので、もう既に見慣れた人ではあるかもしれませんが、簡単に自己紹介をします。

西館担当職員になった田崎つかさです。好きな事は、寝ることと“推し”を眺める事です。熱狂的な嵐ファンであり、アニオタです。

オススメの漫画やアニメがあったら教えてください。

これから一日一日を皆と楽しく過ごしていきたいと思うので、よろしくお願いします



ご支援及びご協力、誠にありがとうございました。

(R元. 4.1~7.31 敬称略、順不同)

有) ダスカジャパンクアウテモック (東京都) / タリーズコーヒージャパン (株) (東京都) / 川久保治美 (宇都宮市) / 阿久津明子 (宇都宮市) / 高橋則子 (宇都宮市) / 半田志津江 (宇都宮市) / 吉野家 (宇都宮市) / 仙波潤 (宇都宮市) / 日本コークス販売 (株) (宇都宮市) / 北関東総合警備保障 (株) (宇都宮市) / 天台宗栃木教区総務所 (真岡市) / (株) たかくら新産業 (東京都) / 足利銀行戸祭支店長 (宇都宮市) / 作新学院 (オール) (宇都宮市) / 滝乃金田屋 (宇都宮市) / チュチュアンナ (大阪市) / (株) フレーベル館 (東京都) / (有) 稲見商店 (大田原市) / (株) はやぶさ (宇都宮市) / NPO 法人シェアハッピーエール (宇都宮市) / (有) 東武 代表取締役 板橋勇二 (宇都宮市) / (株) みぶグリーンホテル 代表取締役 岩崎純 (宇都宮市) / 栗原健人 (日光市) / 全建総連栃木建設労働組合 (宇都宮市) / (株) ジャクエツ (宇都宮市) / 金原亭馬生 (東京都) / 藤崎印刷 (株) 代表取締役 藤崎則之 (宇都宮市) / 宗教法人 諸佛経行処 (日光市)

〒321-2105 宇都宮市下小池町194
TEL : 028-669-2131 FAX : 028-669-2241
Email: shimotsuke-sanrakuen@nifty.com
http://www.shimotsuke-sanrakuen.net

ご支援のお願い

本園では子どもたちの学習指導、交流、環境美化等様々なボランティアのご協力を求めています。皆さまやお知り合いの方々のご紹介等いただけましたら幸いです。よろしくお願い致します。

園長 藤原 崇夫